

会 議 録

1 会議名

令和3年度上越市美術展覧会 第1回運営委員会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 第50回記念上越市美術展覧会の開催について（非公開）

(2) 第50回上越市美術展覧会について

ア 開催計画について（公開）

イ 展示レイアウトについて（公開）

ウ 審査員及び特別展示について（公開）※当初、非公開

エ 応募要項について（公開）

オ 作品鑑賞会について（公開）

カ その他（公開）

3 開催日時

令和3年5月31日（月） 午後1時30分から午後3時5分まで

4 開催場所

高田城址公園オーレンプラザ 研修室・会議室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

議題(1)は、「意思形成過程情報」を含むため非公開とした。

※議題(2)のウについては、当初「個人情報」に該当する内容を審議するため、非公開としていたが、運営委員会が公開することを必要と認めたことから公開することとした。

7 出席した委員（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

委員：筑波 進（委員長）、洞谷 亜里佐（副委員長）、小林 充也、五十嵐 正、

松尾 大介、大藏 豊彦、兪 期天、山田 真一、藤野 正二、関 敏雄、齋藤 祐介

（以上11人出席）

事務局：（社会教育課）小嶋課長、福山副課長、村山係長、増田主任

8 発言の内容

1 開会

2 委員及び事務局紹介

(事務局) : 令和2年度に予定していた第50回記念上越市美術展覧会が、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延長することを受け、会則に基づき、会長である市長の決裁により、今年度1年間任期を延長することとした。なお、来年度については、新たに委員委嘱をさせていただく。

3 運営委員長あいさつ

4 議 題

(1) 第50回記念上越市美術展覧会の開催について (非公開)

(2) 第50回上越市美術展覧会について

ア 開催計画について (公開)

(委員長) : 今年度の第50回記念上越市美術展覧会の開催について、全会一致で実施するということに決定した。これより具体的な審議に入っていく。

(事務局) : (資料1ページに基づき説明)

(委員長) : 前回決まったことを整理したものであるが、何か質問等あるか。

(藤野委員) : 表彰式・開場式の会場はどこを予定しているか。

(事務局) : オーレンプラザのホール前を予定している。

(関委員) : ミュゼ雪小町の駐車場無料券を出していただけませんか。1時間だとゆっくり鑑賞ができないという声がある。

(事務局) : 予算の都合もあることや、施設及び所管する文化振興課に確認する必要があることから、対応ができるか一旦預からせていただく。

(委員長) : 作品審査について、運営委員会と彫刻・立体造形の審査が9月23日(木・祝)になるが問題ないか。

また、特別展示の作品レイアウトを決めるにあたり、運営委員が対応にあたる場合があることを承知していただきたい。

(委員一同) : 異議なし。

(藤野委員) : 市展開催までに、65歳以上のコロナワクチンの接種が完了となる。

例年、審査員の先生から作品講評をいただいているが、今年の計画はどうか。

- (委員長) : 市展開催にあたっては、3密を避けるのが前提となる。
- (事務局) : コロナの感染対策の観点から、今年は難しいと考えている。この後の議題で詳しく説明させていただき、審議をお願いしたい。
- (委員長) : シャトルバスの運行についてはどうか。コロナ対策が大変になることが予想されるが。
- (事務局) : 運行経路は、オーレンプラザとミュゼ雪小町を往復する経路となる。例年、利用者数はそれほど多くない。
- (藤野委員) : 乗っていない時間帯が多いと認識している。
- (委員長) : 今年はコロナの感染拡大防止の観点から、運行しないということによいか。
- (委員一同) : 異議なし。

イ 展示レイアウトについて (公開)

- (事務局) : (資料2~6ページに基づき説明)
- 資料2の「展示エリア内は左側通行」を「展示エリア内は右側通行」に修正をお願いしたい。
- (委員長) : オーレンプラザはできるだけすれ違わないように考えると、正面玄関から入場したあと、こどもセンターの前を回ってホール前で受付する動線がよいのではないかと考えている。敢えてまわっていただくことで、正面玄関付近での密を避けるということである。
- (藤野委員) : オーレンプラザではほかの貸館もあるが、検温は施設側で行っているのか。
- (事務局) : 各主催者や利用団体が検温を行うこととなっている。手指消毒は入口に設置しているが、検温は利用者が行うことが基本となる。
- (大藏委員) : 動線の意図はよくわかるが、一度回ったら戻ることは一切できないのか。
- (委員長) : 基本的には順路を設定した中で、すれ違いを避けるということである。
- (事務局) : 研修室・会議室とスタジオは入口と出口を分ける予定としている。
- (副委員長) : もう一度見たいときは ベルトパーティションのところで戻ることはできないのか。
- (事務局) : 入口と出口を分けることや、順路の表示をすることで、ある程度は動線を

分ける予定である。細かな部分は今後詰めていきたいと思う。

(小林委員) : 全体を見た後に印象に残った作品をもう一度よく見たいということはあると思う。原案では、鑑賞する側からすると窮屈さを感じるため、ベルトパーティションの配置を工夫して、各部屋から戻れるようにすると良いのではないか。

(委員長) : 大声を出さないこと、密を回避する注意喚起のほかに、できるだけゆっくり見てほしいという呼びかけや配慮は必要であると思う。

(委員長) : 続いて、6ページのミュゼ雪小町会場をご覧いただきたい。レイアウトや出入口は昨年と同様である。そのほか、質問等はあるか。

(小林委員) : 搬入・搬出時のコロナ対策については、展示レイアウト以上に注意する必要があるのではないか。

(委員長) : 特別展示の搬入は専門業者が行う予定であるので、業者にも指示をする必要があるかと思う。

(事務局) : 各会場での搬入・搬出時もコロナ対策を講じた上で実施していく予定である。実施の動線については、今後詰めさせていただく。

(委員一同) : 異議なし。

ウ 審査員及び特別展示について（公開）※当初、非公開

(事務局) : 議題(2)の「ウ 審査員及び特別展示について」は当初非公開としていたが、筑波委員長からの提案を受け、公開とさせていただいてもよいか。

(委員一同) : 異議なし。

(事務局) : 本日欠席の押木委員から、書道部門の審査員は、コロナの影響により、変更があるとの連絡をいただいている。

(委員長) : 書道部門は、審査員、運営委員の双方合意の上、そのような結論に至ったようである。

また、洋画・版画部門は予定通り来ていただけるかどうかまだ分からない状況である。

今のところ、書道部門、洋画・版画部門のみ、そのような話を聞いているが、各部門において、6月中に審査員を確定するよう、再度確認をお願いしたい。

なお、洋画・版画部門は審査員を変更する場合には、特別展示作品の提供

も考慮し、評論家をお願いする予定である。

(事務局) : 特別展示のレイアウトについてご意見をお伺いしたい。

(委員長) : 有孔パネルは縦に設置する予定である。

特別展示のレイアウトについては、委員長を副任、総括は洞谷副委員長にお願いしたいと思うがどうか。

(委員一同) : 異議なし。

(事務局) : 特別展示の搬入・設置は9月23日(木・祝)の午後に行う予定である。

作品規格について、間違いがないか改めて確認いただきたい。

(委員一同) : 異議なし。

(委員長) : 午後の早い時間に運営委員会を行うこともできるのではないか。

例えば午後1時から運営委員会を開催するのはどうか。

(事務局) : 彫刻・立体造形の審査の時間を確保したいと思うが、松尾委員いかがか。

(松尾委員) : 短い時間で対応したいと思う。

(委員長) : 午後の早い時間に運営委員会を行うこととして、日程調整をしてよいか。

(委員一同) : 異議なし。

(事務局) : 懇親会は実施しない方向でよいか。

(委員長) : 審査員との懇親会については、今年には行わない。手土産等について、事務局に案を一任することとしてよいか。

(委員一同) : 異議なし。

エ 応募要項について (公開)

(事務局) : (資料10~11ページに基づき説明)

今回、応募要項の体裁を改めた。

出品規定について誤りがないか今一度確認をお願いしたい。

なお、留意事項で「入選・入賞した作品は、目録に氏名・題名を掲載します。また、目録は上越市ホームページにも掲載します。(入賞作品は写真も掲載します。)」と追記してもよいか。

(委員一同) : 異議なし。

(委員長) : 審査欄の「講評」については、今回は実施しない旨を記載していただく。

(松尾委員) : 毎年、審査結果を楽しみにしている人がいる。例年の郵送のほかに、ホー

ムページ等への掲載を検討してはどうか。

(事務局) : 掲載のタイミングは審査日当日か。

(松尾委員) : 当日すぐではないが、展覧会開催前に掲載されている展覧会が多い。
対応について検討いただければと思う。

(事務局) : 当日は難しいが、翌日くらいなら受賞者のお名前を掲載することはできる
かもしれない。報道機関への情報提供も含め、翌日に掲載できるか検討さ
せていただく。

(委員長) : 対応について事務局から検討いただくということでよいか。

(委員一同) : 異議なし。

オ 作品鑑賞会について (公開)

(事務局) : (資料 12 ページに基づき説明)

作品鑑賞会は実施しないこととし、運営委員からは例年同様、部門ごとの
講評の作成をお願いしたい。

(委員長) : 建設的なご意見などを、箇条書きで良いので出していただきたい。

(委員一同) : 異議なし。

カ その他 (公開)

(事務局) : (資料 13 ページに基づき説明)

今回の図録は、50 回記念寄稿文及び特別展示写真のページを追加する予
定である。

(委員一同) : 異議なし。

(藤野委員) : 出品手数料について、出品しやすい環境をもう一度考えていただきたい。
18 歳以下の出品手数料 500 円はとても良いと思う。将来的に学生部門を
設けるなど、若い人の参加も促していくような方向性を示したほうがよい
のではないか。

(委員長) : 出品手数料の金額設定については、以前から出品者からの意見として聞いて
いるところである。一方で、金額の改定は、簡単ではないということも
確かである。

(藤野委員) : 県展では、1 点目が 4,000 円、2 点目が 2,000 円であり、2 点目が出しや
すい環境になっている。市展においても、出品しやすい環境を整える必要

があるかと思っている。

(委員長) : 今結論は難しいが、藤野委員がおっしゃるとおり、運営委員として考えていかなければならない課題である。

(委員長) : そのほか意見等はあるか。

(委員一同) : 意見なし。

(事務局) : 新型コロナウイルス禍ということで、昨年度予定していた案から変更した点やまだ決定していない点があるが、事務局で再検討し、次の運営委員会までにご相談や提案をさせていただきたいと思う。また、今日の結果を、会長である市長に報告し、開催の最終決定をさせていただく。
以上で、令和3年度上越市美術展覧会 第1回運営委員会を閉会とさせていただきます。

9 問合せ先

教育委員会 社会教育課 生涯学習係 TEL : 025-545-9245

E-mail : shakaikyouiku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。